

十月の月

河村郁子

朔の夜が十五夜にして満月は二日となれば供物を変へる

われの名の漢字の部首に月ありて 雲間の月の光に守らる

今月の下弦の月は見えずなり秋の気まぐれ台風十四号接近

やうやくに上弦の月かうかうと二十三日の夜更けにばかり

今月はをりしも火星大接近 東に火星 西に木星

天空に月は黄金に焰星は赤く歳星青く座を占む

月夜見を真中に火星の前ジテに後ジテ木星 能舞台成す

慈照寺の向月台やいかならむ 狭庭に出でて月光掬ふ

十三夜の月につごもり望の月遠く清らにかがよひにけり

地球よりの月面探査競ふらし月への抒情薄ろくなかれ